

令和3年度第3回三条市学校給食運営委員会（書面開催） 意見等及び回答

議事	質問、意見	回答
報告ア	<p>中学校で残高が多くなった要因は何か。</p>	<p>中学校につきましては、小学校と比較して2学期末時点での平均給食実施回数が少なかったため、物価上昇等の影響は受けながらも調整ができたものと考えております。</p> <p>また、2学期末時点における残高につきましては、年度末までの収入見込及び給食実施回数等を考慮しますと、適正な額であると考えております。</p>
	<p>未納額はどのように取り扱っているのか。</p>	<p>給食費は、学校預り金の中の一つとなりますので、基本的には、学校が文書や電話での催告、家庭訪問、保護者との面談等を行い、納入を促しております。</p> <p>また、未納となる家庭は就学援助を受けている場合が多いことから、就学援助の申請時には、滞納があった場合に、保護者の口座ではなく学校長口座に直接入金されるようあらかじめ同意を得ることで、未納の解消につなげております。就学援助費は学期ごとの支給であるため、年度途中で未納が発生していても、年度末までに解消される場合も多く見受けられます。</p> <p>このほか、就学援助の受給要件を満たしているが未申請の家庭には申請を促す、小・中で兄弟関係がある場合は連携して対応する、未納の状況によっては、学校だけでなく教育委員会も入り、連名での文書送付、面談の実施といった組織的な対応を行う体制となっております。</p> <p>各家庭の状況を聞き取った上で個々の対処が必要となってくる問題</p>

議事	質問、意見	回答
報告ア		でありますので、解決までに時間を要する場合もございますが、引き続き未納解消に向けて丁寧に対応してまいります。
	未納額について学校差が目立つが、未納がない学校は何か取組など行っているのか。事務局としての実態分析並びに参考となる取組の学校への共有を期待したい。	<p>過去3年の未納状況を確認したところ、調理場区分で見たときに年間を通して未納がないという調理場はなく、今年度2学期末時点において学校により差が生まれているのは結果的なものと考えております。</p> <p>また、前述のとおり、就学援助費が学期ごとの支給であるため、年度途中で未納が発生していても、年度末までに解消される場合も多く見受けられます。</p> <p>個々の家庭それぞれが厳しい経済事情を抱えていることが未納の主な要因であると認識しておりますが、今後も事務局として動向を把握し、未納対策等について情報がある場合には適切に情報共有を図ってまいります。</p>
	<p>未納が年々増えていると聞く。給食費を市で負担することで</p> <p>①困窮している児童が肩身のせまい思いをしなくて済む。</p> <p>②学校の事務職員、給食担当職員の負担がなくなり、働き方改革になる。</p> <p>③子育て世帯が三条市に移住してくるきっかけとなる可能性がある。</p>	<p>過去5年の未納額の推移を見ますと、平成29年度末時点で573,537円だったところ、最新の令和2年度末時点では534,135円となっております。</p> <p>令和2年度の実績で見ますと、給食費の支出額は小中学校合計で年間約4億6千万円となっており、市が負担することは財政面等から大変厳しいものと考えております。</p>

議事	質問、意見	回答
	<p>以上のような効果が考えられる。検討いただきたい。</p>	
報告イ	<p>調査期間は例年2日間なのか。 また、調査時期や献立内容は同じなのか。</p>	<p>調査は昨年度と今年度については、全学校において11月に2日間実施いたしました。 献立については、昨年度と今年度共に全学校統一献立としました。 また、1日は主菜が肉料理、1日は主菜が魚料理とし、主菜の残量の差や、おかずの違いによる主食や牛乳、献立全体の残量の差等についても確認できるように実施いたしました。</p>
	<p>残量の割合は何に対する割合か。</p>	<p>提供量に対する残量の割合となっております。</p>
	<p>来年度からパン、麺の提供回数が増えることを受けて、基本的なご飯メニューとあわせて、パン、麺の残量調査を実施し、変更の妥当性を明らかにしてはどうか。</p>	<p>いただいた御意見のとおり、主食の種類別の残量を確認することと併せて、主食の違いによる副食や牛乳の残量についても確認する必要があると考えます。調査を実施し、その後の献立の工夫や食指導にかしたいと考えております。</p>
	<p>いつも工夫した献立、おいしい味付けに感謝している。 年々、野菜嫌い、牛乳嫌いの子供が増えるなか、味付けを工夫してくれるので、当校では残量が年々減っている。 特に汁物はだしがきいていて、子供</p>	<p>日々の励みとなるお言葉をいただきましたので、栄養教諭、調理員等へ共有させていただきます。ありがとうございます。</p>

議事	質問、意見	回答
	たちからも職員からも大好評である。	
議題ア	パン、麺、牛乳の提供回数が増えることに異議はないが、子供の好きなヨーグルトを減らさなくても良いと思う。子供たちが給食を好きになるようなメニューとしてほしい。	牛乳やヨーグルト等の提供回数につきましては、不足しがちな栄養素等を今まで以上に補っていけるよう改善しつつも、給食費を適正な額とするために調整させていただいたものでございます。 御指摘については重く受け止め、献立構成を考える中で極力ヨーグルト等が全く提供されないということにならないように配慮しつつ、子供たちが様々な食材を、おいしく楽しく食べることができるよう工夫していきたいと考えております。